

TAKAMATSU
HISTORICAL
MUSEUM
annual report

高松市歴史資料館 年報
平成26年度 No.17

目次

I 展示

- 1 常設展..... 02
- 2 企画展..... 04
- 3 テーマ展..... 08
- 4 ロビー展..... 08

II 教育普及

- 1 サンクリスタル学習..... 09
- 2 学習室展示..... 10
- 3 講座..... 10
- 4 博物館実習..... 12
- 5 広報活動..... 12

III 資料整備

- 1 収集..... 13
- 2 貸出・特別利用..... 14
- 3 高松市収蔵品情報システム..... 15
- 4 ボランティア活動..... 15

1 常設展

常設展示では、基本テーマを「瀬戸内海に生まれた高松の人々と暮らし」とし、高松の原始から現代にいたるまでの歴史と文化の変遷を通観できるようにしている。高松のすばらしさを知り、理解を深めてもらうのが目的である。

展示手法としては、各時代における特徴的な事象をテーマにすえ、実物資料・レプリカ・模型の展示だけでなく、映像資料・グラフィック等も駆使して、観覧者の知的要求に応じられるように特色ある展示構成を図っている。

また、別室のプレイミュージアム(学習室)では、パソコンなどを使って、高松の歴史や文化の情報を楽しみながら学べるよう工夫している。

なお、展示資料は、新収蔵資料による展示替えや資料の保存を考慮して随時入替えを行っている。

常設展示室

Table with 2 columns: テーマ, サブテーマ. Rows include: プロローグ (海を渡る), 原始・古代 (高松平野の成立, 稲作の発展と高松, 石清尾山古墳群, 仏教文化と高松), 中世 (源平合戦と屋島, 武士の活躍と高松), 近世 (城下町高松の発展, 讃岐三白と交通, 町人文化と高松).

Table with 2 columns: テーマ, サブテーマ. Rows include: 近・現代 (近代都市高松の発展, 高松空襲), ミニシアター (高松訪ね歩記).

映像資料

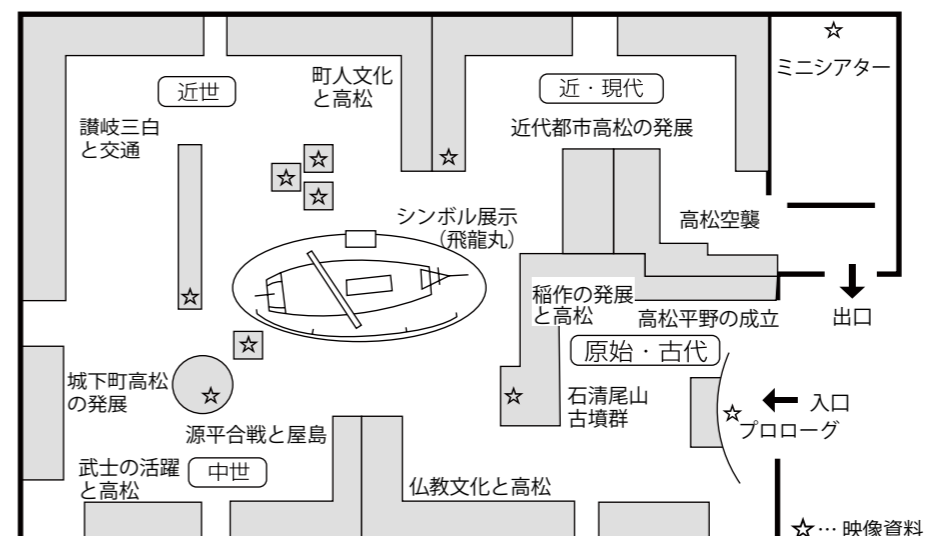
Table with 2 columns: 映像種類等, 映像資料名. Rows include: プロローグ (海を渡る), 総覧映像 (高松歴史ニュース), 詳細映像 (〔原始・古代〕高松平野の姿, 〔中世〕兵庫北関入船納帳にみる交易).

Table with 2 columns: 映像種類等, 映像資料名. Rows include: 詳細映像 (〔近世〕再現された飛龍丸, 〔近代・現代〕文明開化の先駆者「川崎舎竹郎」), ミニシアター (「高松訪ね歩記」), ファンタビュー (源平屋島合戦).

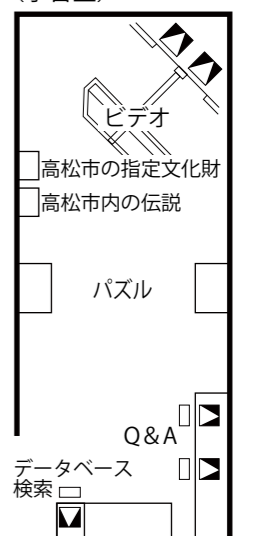
プレイミュージアム(学習室)

Table with 2 columns: コーナー, 映像資料名. Rows include: ビデオ (水の武術「水任流泳法」, 高松市の伝統工芸), Q&A (たかまつのれきしクイズ), データベース検索 (高松市ウェブミュージアム), 高松市の指定文化財 (高松市内の伝説), パズル (高松市の地図).

常設展示室



プレイミュージアム(学習室)



2 企画展

当館は毎年度、核となる事業として企画展を3回ほど開催している。平成26年度は4回開催し、「再発見! 桃太郎の世界」、「船と鉄道~四国の玄関口・高松の交通機関史~」、「輝きの備前名刀展」、「屋島ーシンボリックな大地に刻まれた歴史ー」において讃岐にゆかりが深い伝説や史跡等を展示・紹介した。

各回の開催にあたり、下記の機関から後援をいただいた。

朝日新聞高松総局・RSK山陽放送・RNC西日本放送・NHK高松放送局・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・産経新聞社高松支局・四国新聞社・TSCテレビせとうち・毎日新聞高松支局・読売新聞高松総局

第66回企画展 再発見! 桃太郎の世界

桃太郎の物語は、室町末期から江戸初期にかけて昔話の伝承の中で形成されたといわれており、江戸時代から庶民を中心に人気があった。明治時代には小学校の国語教科書に採用され、全国で圧倒的な知名度を持つようになった。また戦時中はその知名度から戦意高揚のために利用された歴史もあり、桃太郎は常に時代の風俗や世相の影響を受けてきた。

元来、桃太郎の物語は各地の伝承から生まれたもので、その内容は多岐に渡っている。やがて伝承の残る地域の遺跡や遺物はその物語と結びつけられ、桃太郎の伝説の地となった。

高松市は昭和初期に橋本仙太郎氏によって鬼無の桃太郎伝説が提唱されたことを契機に、岡山県吉備路、愛知県犬山市とともに、「桃太郎三大伝説地」として知られるようになった。

本展では「第13回桃太郎サミット高松大会」の開催に合わせて、時代や地域等によって多面的かつ多様な姿を見せる桃太郎を、絵巻・書籍・玩具等によって紹介した。

- ・高崇溪「桃太郎絵巻」 当館蔵
- ・「桃太郎絵巻」 桃太郎資料館蔵
- ・「桃太郎絵巻」 岡山県立美術館蔵
- ・「Japanese Fairy Tale Momotaro」 桃太郎資料館蔵
- ・「教育ヌリエ紙芝居 進め・桃太郎」 桃太郎資料館蔵

関連イベント

- 講演会(第13回桃太郎サミット高松大会共催事業)
(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
・「桃太郎説話と絵巻」/4月26日(土)午後2時30分~ / 講師: 谷原博信氏(香川民俗学会名誉会長)
・「桃太郎を考える」/4月26日(土)午後3時30分~ / 講師: 加原奈穂子氏(東京芸術大学講師) / 参加者178人
- ワークショップ
・「折紙で作る桃太郎の世界」(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
4月29日(火・祝)午後1時30分~3時 / 講師: 坂本整子氏(日本折紙協会香川県支部 支部長) / 参加者24人
・「ぬり絵巻」(展示会場又はロビー)
会期中
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分~ / 展覧会担当者及び歴史資料館サポーター / 計6回 / 参加者延べ47人

会 期 平成26年4月19日~5月25日(32日間)
観覧者数 1,147人(うち有料観覧者数281人)



▲ポスター

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)



▲展示風景



▲「折紙で作る桃太郎の世界」

第67回企画展

船と鉄道~四国の玄関口・高松の交通機関史~

会 期 平成26年6月7日~7月13日(32日間)
観覧者数 1,823人(うち有料観覧者数570人)

昭和60年代の初めまでは、宇高連絡船をはじめ備讃瀬戸を往来する船舶により、本州と四国が結ばれ、高松は四国の玄関口として大きく発展していた。鉄道や船舶などの大量輸送を可能とする交通機関は、物流や生活の利便性向上など、様々な形で高松の発展に寄与してきた。

しかし、瀬戸大橋の開通などによる交通網の大きな変化は、それまでの高松を起点としていた物流や人々の流れを変え、四国の玄関口として発展してきた高松の顔を変えることとなった。その結果、高松を発着する多くの船舶がその役割を終え、惜しまれつつ姿を消していった。

本展では、四国の玄関口である高松の発展を支えてきた船舶と鉄道に関する資料や写真を展示・紹介し、高松の交通機関の歴史を振り返った。

主な展示資料

- ・「連絡船設計図」 当館蔵
- ・「宇高連絡船内の案内板」 宇高連絡船愛好会蔵
- ・「写真 第一玉高丸」 四国フェリー(株)蔵
- ・「ヘッドマーク 高松琴平」 高松琴平電気鉄道(株)蔵
- ・「国鉄土讃線行先票」 当館蔵
- ・「ポスター 国有鉄道」 当館蔵

関連イベント

- 講演会(讃岐村塾タイアップ講演会)
(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
・「うどんだけじゃない宇高連絡船」/6月28日(土)午後1時30分~3時 / 講師: 三村卓也氏(宇高連絡船愛好会会長) / 参加者54人
- ワークショップ
・「懐かしの景色と乗り物を切り絵にしよう!」
(サンクリスタル高松3階・第1集会室)
6月29日(日)午後1時30分~4時 / 講師: 萩原幹生氏(元宇高連絡船船長) / 参加者27人
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分~ / 展覧会担当者及び歴史資料館サポーター / 計6回 / 参加者延べ93人



▲ワークショップ



▲ポスター

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)



▲展示風景



▲講演会

第68回企画展
輝きの備前名刀展

日本刀は、我が国独特の鍛練法により制作された刀剣類であり、芸術性と精神的要素を秘め、一千有余年の歴史に耐え今日においても輝きを放つ、世界に誇れる文化遺産である。

日本刀が誕生したのは、武士が歴史の表舞台に登場するのと同じ平安時代後期（11世紀頃）といわれており、戦いのための武器として製作・使用されたことから、他のいかなる美術工芸品よりも、日本の歴史と深く関係してきた。また、数々の伝説や一家一族の悲喜に係るエピソードなどが秘められたものも多く、武士の魂などと推奨されて、非常に大切に扱われてきた。

今回の企画展では備前刀の優品を保管する香川県立ミュージアム・金刀比羅宮・白鳥神社から4口の重要文化財を、備前刀を多く所蔵する備前長船刀剣博物館からは古代から現代刀までの各刀を借受け、平安時代末から鎌倉時代初期に備前に出現した刀工にスポットを当て、時代ごとに作品を展示した。とりわけ備前刀独特の地鉄、皮紋並びに腰反りなど、風格のある逸品を紹介した。

また、刀装金具である三所物の中でも高松松平家伝来の緻密な装飾の諸々四十八図小柄などを併せて展示した。

会 期 平成26年9月13日～10月26日（38日間）
観覧者数 1,770人（うち有料観覧者数362人）



▲ポスター



▲図録

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)
- ・図録(A4縦・44頁)



▲展示風景



▲ワークショップ

主な展示資料

- ・重要文化財「太刀 銘長光」 金刀比羅宮蔵
- ・重要文化財「太刀 銘元重」 香川県立ミュージアム蔵
- ・「太刀 銘吉房」 備前長船刀剣博物館蔵
- ・「雑刀 備前国住長船上大野大掾藤原祐定作」 備前長船刀剣博物館蔵
- ・重要文化財「太刀 銘正恒」 白鳥神社蔵
- ・「諸々四十八図小柄 無銘」 高松松平家歴史資料（香川県立ミュージアム保管）

関連イベント

- 講演会（サンクリスタル高松3階・第1集会室）
 - ・「備前刀について」
 - 9月21日（日）午後1時30分～／植野哲也氏（備前長船刀剣博物館学芸員）
 - ／参加者45人
- ワークショップ
 - ・「鬼おろしを作ろう」（サンクリスタル高松3階・第1集会室）
 - 10月12日（日）午後1時30分～／三好正和氏（鞘師）
 - ／参加者20人
- ミュージアムトーク（企画展示室）
 - 会期中の日曜午前10時30分～／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター
 - ／計7回／延べ109人

史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展
屋島-シンボリックな大地に刻まれた歴史-

会 期 平成26年11月8日～12月23日（39日間）
観覧者数 2,168人（無料）

高松市のランドマークともいえる「屋島」には、古代山城屋嶋城、鑑真が創建したと伝えられる屋島寺、源平合戦屋島の戦いの古戦場跡がある。テーブル状の台地で、山頂近くが浸食によって絶壁となっている典型的な「メサ」として、また、通称「畳石」と呼ばれる安山岩の板状節理が美しいことから昭和9年11月10日に国の史跡と天然記念物に指定された。平成26年に80周年を迎えるのを記念して、香川大学館と高松市歴史資料館との共催で企画展を開催した。

香川大学博物館では、平成24・25年度に高松市から委託されて香川大学天然記念物屋島調査団が行った地形・地質をはじめとする自然及び景観の研究成果をパネルや標本で紹介した。高松市歴史資料館では、「屋島」の歴史をこれまでの発掘調査の成果や古写真・文献・絵画資料で紹介した。



▲ポスター



▲図録

主な展示資料

- ・「鶺鴒神社境内遺跡出土 弥生土器」 高松市教育委員会蔵
- ・「屋島古墳調査記」 当館蔵
- ・「讃岐国名勝図会」 当館蔵
- ・「源平合戦図屏風」 当館蔵
- ・「リーフレット 国立公園屋島讃岐遊覧案内」 当館蔵
- ・「屋島焼煎茶茶器 三谷林叟作」 当館蔵

関連イベント

- 講演会（開催記念講演会）（サンクリスタル高松3階・第1集会室）
 - ・「ジオパークの視点から見た『史跡天然記念物屋島』」
 - 11月8日（土）午前10時30分～／講師：長谷川修一氏（香川大学工学部教授）
 - ／参加者52人
- 講演会（サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール）
 - ・「屋島と石船塚1934～史跡指定制度の挑戦と変容～」
 - 11月9日（日）午後1時30分～／講師：大久保徹也氏（徳島文理大学文学部教授）
 - ／参加者50人
- ミュージアムトーク（企画展示室）
 - 会期中の日曜午前10時30分～展覧会担当者及び歴史資料館サポーター
 - ／計7回／参加者延べ62人

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)
- ・図録(A4縦・60頁)



▲展示風景



▲開展式

3 テーマ展(収藏品展など)

収藏品展
あゝ商店街～高松アーケード・メモリー～

■ 会 期
平成27年2月7日～4月5日(50日間)

■ 観覧者数
1,777人(うち有料観覧者数679人)
*3月31日までの観覧者数

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)
- ・パンフレット(A3・二つ折り)



▲ポスター

高松中央商店街は、8つの商店街で構成される日本最長約2.7キロメートルのアーケード商店街であり、江戸時代には、丸亀町、南新町、片原町を軸に城下町が形成され繁栄したが、昭和20年(1945)の戦災によって、そのほとんどを失ってしまった。戦災後、観光高松大博覧会の開催や、玉藻公園などの観光地整備によって、商店街もアーケード街の形成や瓦町駅前に新商店街ができるなど、急速に復興・発展していった。昭和30・40年代には大型百貨店を中核として発展を遂げつつ、アーケードの改装によりカラー舗装された。その後、郊外に大型ショッピングモールができるなどして、商店街を訪れる人が減少したが、新たな店舗づくりや、兵庫町・片原町西部・丸亀町をつないでいた「三町ドーム」を「丸亀町壱番街ドーム」に改装する等、その危機を乗り越えた。江戸時代から続く地名や昔ながらの風情を残しつつ、創意工夫をして発展している商店街の歴史を、写真資料約115点をはじめ、当時の資料によって紹介した。

関連イベント

■ まちあるきワークショップ
・「まちあるきを楽しもう!」
2月11日(水・祝)3月7日(土)3月11日(土)午前10時～正午
/ガイド:崎洋之氏(うどんツアー社・まちかど漫遊帖)/参加者延べ31人

■ ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分～
/展覧会担当者及び歴史資料館サポーター/計8回
/参加者延べ108人



▲まちあるきワークショップ

4 ロビー展

01 「鬼が島」展 4/8～5/25

「再発見!桃太郎の世界」展にあわせて三豊市仁尾中学生在が作成した鬼を展示・紹介した。



04 「屋島と詩人」展 11/5～12/23

「屋島-シンボリックな大地に刻まれた歴史」展にあわせて、屋島を訪れ、屋島を詠んだ詩人たちの作品などを展示・紹介した。



02 「乗物のある風景」展 6/6～7/25

「船と鉄道」展にあわせて高松で活躍したさまざまな乗り物や高松駅周辺の懐かしい風景の古写真を展示・紹介した。



05 幸福をもたらす七神 1/4～2/1

七福神に関する絵馬や土鈴などを展示・紹介した。



03 「手仕事のニッポン」展 9/2～11/3

66年前に創刊された「手仕事の日本」の中に登場する手工芸品などを展示・紹介した。



06 商店街あゝ頃この頃 2/3～4/5

「あゝ商店街」展にあわせて、商店街の思い出をアンケートに記入してもらい、展示・紹介した。



「開かれた資料館」をめざし、当館では教育普及に積極的に取り組み、資料を通して市民との対話に努めている。そのひとつに、郷土の歴史をより楽しみながらよく知るために、学校教育との連携を図り、市内の小中学生を対象に行う「サンクリスタル学習」を実施している。また、生涯学習の場として、「夏休みこども歴史講座」をはじめ様々な講座などを開催するとともに、博物館実習を希望する学生の受け入れをし、学芸員の養成に寄与している。

1 サンクリスタル学習

当館(4F)は、図書館(1・2F)と菊池寛記念館(3F)との複合館で、「サンクリスタル高松」の名称で呼ばれている。この複合館という利点を生かし、より充実した学習内容と効果をめざすため、市内の小中学生を対象とした「サンクリスタル学習」を平成5年度から当館が事務局となり実施している。

展示資料を活用し、分かりやすく歴史を伝え、親しんでもらうために、また、小学生が興味を持って資料に接することができるように、学習の際の補助的な教材として「サンクリスタルノート」を作成している。また、展示解説の際には、校区にある遺跡や古墳などの話を織り交ぜ、興味深く歴史学習ができるように努めている。

平成26年度からは、午後からの補助学習として「屋島学習」を行い、屋島の城等の現地説明を行っている。サンクリスタル学習を実施するにあたり、各小学校の担当教諭を集めて説明会を開くとともに、それぞれ学習実施前には綿密な事前打合せを行っている。また、必要に応じて各小学校の利便性を考慮し、大型バス等の手配をしている。

サンクリスタル学習参加校

6月	鬼無小学校	49名
	牟礼南小学校	51名
	川東小学校	64名
	古高松小学校	114名
7月	鶴尾小学校	36名
	古高松南小学校	119名
9月	川岡小学校	45名
	牟礼小学校	53名
10月	川添小学校	72名
	屋島東小学校	23名
	花園小学校	54名
	国分寺南部小学校	158名
	木太南小学校	131名
	円座小学校	134名
	十河小学校	140名
	川島小学校	96名
11月	植田小学校	16名
	塩江・安原・上西	18名
	多肥小学校	172名
	牟礼北小学校	75名
	香西小学校	101名
12月	国分寺北部小学校	148名
	林小学校	113名
	大野小学校	68名
	木田北部小学校	99名
	高松第一小学校	116名
	屋島西小学校	89名
	木太小学校	106名
	檀紙小学校	92名
1月	下笠居小学校	47名
	香南小学校	98名
	前田小学校	48名
	屋島小学校	94名

合計 33校 2,839名



2 学習室展示

■ 主催事業

「郷土玩具で日本を知る・郷土玩具で日本を知るpart II」

全国各地で作られている郷土玩具。地域によって使用している素材に違いがあったり、地域の伝承や民話を模したりなど、特色あふれる玩具を、日本地図上に紹介した。

また後期はpart IIとして、前期とは風情の違った全国各地の郷土玩具を紹介した。あわせて、日本の郷土玩具であるこけしが世界の民族衣装をまとっている「世界のこけし」を展示した。

期間：前期 平成26年5月20日～平成26年9月30日
後期 平成26年10月1日～平成27年3月31日



▲ポスター

3 講座

■ 主催事業

夏休みこども歴史講座

郷土高松の歴史をもっと知りたい・学びたいと思う小中学生のためにテーマを決め、現地見学を行う講座を開催した。

栗林公園の歴史を探ろう！

栗林公園のボランティアガイドの話の聞いたり、歴史資料館で資料作成を行い、自由研究の一助とした。

7月31日・8月2日／講師：栗林公園ボランティアガイド
／参加者：延べ44人(補助者含む)



▲講座風景



歴史クイズにチャレンジしよう！

春休み・夏休み・冬休みの期間、中学生以下の子どもを対象に、菊池寛記念館と共同で、展示物にちなんだクイズで歴史や資料館に親しんでいただいた。

参加者：延べ482人(春105人・夏271人・冬106人)

古文書講座

実際の古文書を題材に取り上げ、講師を招いて「古文書に暮らしをさぐる」と題し、古文書に親しむ講座を開催した。

8月21日・9月18日・10月16日・11月20日・1月15日・2月19日・3月19日
／講師：三谷敏雄氏／参加者：7回延べ376人



▲講座風景

■ サポート事業

サポーター養成講座及び活動

サポーターによる展示解説のための事前研修を実施し、必要な能力を培った。

講座名	期日
4月例会	4月6日
5月例会	4月20日
6月例会	6月8日
7月例会	7月6日
8月例会	8月3日
9月例会	9月14日
10月例会	10月5日
11月例会	11月9日
1月例会	1月17日
2月例会	2月8日
3月例会	3月15日

活動名	期日 (いずれも午前10時30分～)	内容
■ 第66回企画展 「再発見！桃太郎の世界」 ミュージアムトーク	4月 20・27日 5月 4・11・18・25日	展示会場にて展示解説
■ 第67回企画展 「船と鉄道～四国の玄関口・高松の交通機関史～」 ミュージアムトーク	6月 8・15・22・29日 7月 6・13日	展示会場にて展示解説
■ 第68回企画展 「輝きの備前名刀展」 ミュージアムトーク	9月 14・21・28日 10月 5・12・19・26日	展示会場にて展示解説
■ 史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展 「屋島 - シンボリックな大地に刻まれた歴史 -」 ミュージアムトーク	11月 9・16・23・30日 12月 7・14・21日	展示会場にて展示解説
■ 収蔵品展 「あゝ商店街～高松アーケード・メモリー～」 ミュージアムトーク	2月 8・15・22日 3月 1・8・15・22・29日	展示会場にて展示解説

■ 共催事業

講座名	期日	講師	参加人数
■ 讃岐村塾			
昔話入門 - 昔話の思想 -	5月24日	谷原博信氏 (香川民俗学会名誉会長)	30
うどんだけじゃない宇高連絡船	6月28日	三村卓也氏 (宇高連絡船愛好会会長)	54
博物館学の東西交流史と資料の保管 -18世紀の博物館図譜から標本資料まで-	7月26日	滝川祐子氏 (香川大学農学部 技術補佐員)	20
「讃岐国往還絵図の世界」を読む	8月23日	田中健二氏 (香川大学教育学部教授)	49
近代史の中の桃太郎 - その変質からみえるもの -	9月27日	石井耀大氏 (香川県歴史教育者協議会会長)	36
医師のみた平賀源内	10月25日	西岡幹夫氏 (香川大学医学部名誉教授)	76
讃岐の合田求吾、解体新書の前に書かれた西洋医術 (述)	11月22日	板野俊文氏 (香川大学副学長)	38
江戸医師達の漢詩漢文	12月27日	田山泰三氏 (英明高等学校教諭)	47
古文書に親しむ	2月28日	三谷敏雄氏 (古文書講座講師)	52
徳島藩医 井上春洋著『墨竹枝』と幕末の洋学移入について	3月28日	太田剛氏 (四国大学文学部書道文化学科教授)	31

4 博物館実習

博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館実習を行った。

7月29日～8月3日（6日間） 計2人

5 広報活動

館の情報を広く周知し利用促進を図るため、リーフレット・ポスター・チラシ等を高松市内外の関係施設や観光案内所・ホテル等へ配布したほか、インターネットで各種展示・講座の案内、資料紹介、高松の歴史や文化に関する様々な情報提供を積極的に行った。

また、当館・菊池寛記念館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の5館の取り組みや市民との活動を伝える『高松市資料館だより maimaiko(まいまいこ)』を年1回、5館の展示やイベント予定を掲載した『maimaiko mini(まいまいこ みに)』を年4回発行した。

■ maimaiko (まいまいこ)



▲第8号（2015年3月発行）

■ maimaiko mini (まいまいこ みに)



▲2014年春号

資料整備は、資料館の最も基本的な機能で、かつ重要な役割を占めるものである。

資料の収集・整理・保存を行うことにより、資料館にとって最大の財産である収蔵資料に厚みを増すことができる。これによって常設展示の展示替え、また調査研究を通して企画展示等の方法で市民に還元し、貴重な文化財産を次世代に伝えていく使命を持つ。収集方法としては、購入・寄贈・移管・寄託等がある。

1 収集

■ 購入

4件

資料名	作者・著者名	時代・制作年	員数	全体法量 (cm)	品質
美術工芸 絵画					
牡丹図	長尾雨山	明治～昭和時代	1幅	縦185.6 横42.4	和紙
墨竹図	細川林谷	天保12年(1841年)	1幅	縦135.0 横31.0	和紙
美術工芸 書跡					
五言絶句	長尾雨山	明治～昭和時代	1幅	縦192.6 横48.0	和紙
忘年餘適(卷子)	山田呆斎、後藤漆谷など	江戸時代	1巻	縦31.0 横549.6	和紙・絹

■ 寄贈・移管 ※掲載の順序は、採納手続き順による

24件

古写真・古記録など	61点
漆原馬須雄 面など玩具	93点
日本鳥瞰中国四国大図絵	1点
奉納絵(忠臣蔵・大黒丸)	1点
玩具	12点
漆原馬須雄 玩具型など	9点
民具(櫛・羽釜・アイロン・伸子張りなど)	9点
中原淳一 書籍「髪の本」	1点
古写真	3点
金毘羅参詣名所図絵・日柳燕石印譜	7点
漆原馬須雄 面(たぬき・天狗・般若)	3点
面(兎・天狗)	2点
胸像・面(ひょっとこ11点)(おかめ10点)	22点
墨運堂製百選墨 33点・収納箱・筆・硯7点	42点
手塚鷗盟山水図屏風 2点・熨斗目小袖・地図「キング第十七巻第一號付録」	2点
刀 銘讃州住盈永	1点
井上員男 版画 平家物語一扇の一的	1点
昭和の生活用品(ミシン・アイロン・はなやまのニューダイヤモンドゲームなど)	66点
ちゃんちゃんこ・軍事郵便はがき・軍事郵便絵はがき	2点
機関誌「ふりつち」第81号～100号	4点
冊子「高松市農林水産業1968」「高松市農林水産業1969」「農林水産業の概要」	20点
あねさま人形	3点
ベビーベッド・編機	3点
有線放送オープンリールなど	2点
	916点

■ 寄託

0件

2 貸出・特別利用

■ 貸出

3件

分類番号	資料名	出品展覧会	会場	会期
AA.0001-001	アイヌ人形			
AA.0002-026	庄内板獅子			
AA.0009-001	滝宮天満宮のうそ	「日本のおもちゃ展」	まちのシューレ963	平成 26 年 4 月 19 日～ 5 月 6 日
AA.0010-002	鯨車			
AA.0010-003	鯨船			
AA.0011-014	多良木のきじ馬			
AA.0011-022	北山田のきじ馬			
AA.0011-025	鯛車			
BA.002-23	相良土人形 まんじゅう割			
BA.002-28	相良土人形 なんばんねずみ			
BA.006-22	京都伏見人形 馬乗狐			
BA.009-11	宮内人形 狛鯛			
BA.009-13	宮内人形 つまみ			
BA.009-20	宮内人形 ふり槌			
BA.009-28	大崎人形 運動人形			
BA.009-36	宮内人形 イタダキ			
BB.0011-71	がらがら 大			
BB.0011-72	がらがら 小			
CA.0004-001	三角だるま			
CA.0005-013	静岡張子 祝鯛			
CA.0007-007	神農さんの虎			
CA.0009-022	高松張子 ほうこうさん			
CA.0009-048	たわら馬			
DA.002-001	南部の馬玩具 しのび駒			
DA.005-002	わら馬			
DB.0007	高松張子 えびだき人形			
AH.003-006	寺院絵馬 未			
AH.003-007	寺院絵馬 未			
AH.009-007	寺院絵馬 未	「新春展」	高松市中央図書館	平成26年12月26日～ 平成27年2月1日
AH.009-010	寺院絵馬 未			
BA.005-001	奈良井人形 俵のり羊			
BA.006-013	京都諸玩具 祢羊			
BA.009-018	宮内人形 羊			
BA.011-045～056	能古見人形 十二支			
BB.002-016	中山土人形 羊			
BB.002-017	堤土人形土鈴 羊			
BB.002-032	土鈴 未絵馬			
BB.009-032	滝宮天満宮 羊っ子			
CA.002-011	三春張子 福羊			
F.0076	明治四年かとのひつじ乃天保壬寅元暦			
GD.009-008	絵馬の国			
AVライブラリー (学習資料)			高松市立屋島小学校	平成 27 年 2 月 2 日～ 2 月 28 日

■ 特別利用

73件

3 高松市収蔵品情報システム

歴史資料館、美術館、平和記念室、菊池寛記念館の収蔵品及び文化財課所管の出土品等のデータを一元管理し、公開可能なものについてインターネットにより広く公開する「高松市収蔵品情報システム」(高松市ウェブミュージアム)を構築するとともに、積極的な運用を図っている。



<http://www.takamatsu-webmuseum.jp/>

4 ボランティア活動

■古文書解読ボランティア

本館で収蔵する古文書等の資料については、平成 10 年度末から本格的に整理分類に着手している。しかし、一連の作業の中核として古文書の解読にあたる職員等の絶対数が不足しており、作業の円滑な進捗が懸念されるため、本館主催の古文書講座の受講生を中心に史料の解読をお手伝いしていただき、一定の成果をあげている。26 年度は書状・錦絵などの資料の解読をしていただいた。

参加人数：6 人

高松市歴史資料館年報 平成26年度

資料編

管理運営

1	設置目的	02
2	建設基本構想	02
3	沿革	02
4	施設概要	03
5	組織と業務	03
6	関係法規	05
7	統計資料	09
8	利用案内	12

1 設置目的

本市の歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため。

2 建設基本構想

(1) 資料館の基本理念及び性格

ア 基本理念

郷土の文化遺産を収集し、学術的な体系のもとに整理・保管・展示をして、市民の利用に供し、市民の生涯学習と文化の継承発展に資する。

イ 性格

- (ア) 歴史・考古・民俗等の各分野の資料を収集、保管して、伝承できる施設とする。
- (イ) 高松市の文化財の保護及び利用の中心的役割を果たし、文化向上に寄与しうる施設とする。
- (ウ) 親しみやすく利用しやすい資料館として運営・活動を行い、市民の郷土学習の場としての役割を担う施設とする。
- (エ) 学校教育と密接な関係を持ち、児童生徒が体験学習を行える施設とする。
- (オ) 高松市の歴史と文化に関する情報をコンピュータに集積するとともに、他機関とのネットワーク化を図り、これらの情報を提供する施設とする。

(2) 資料館の機能

資料館は、展示、教育普及を中心とし、次の目的をもった機能を有するものとする。

ア 展示機能

高松市を特徴づけるテーマを選定し、収集資料を中心に展示する。

イ 教育普及機能

高松市の歴史と文化に関して学校教育との連携を図るとともに、生涯教育の場の提供と普及活動を行う。

ウ 収集機能

高松市に関係する歴史・考古・民俗等各資料を収集する。

エ 整理保管機能

重要な歴史・考古・民俗等の資料を中心に整理し、保管する。

オ 調査研究機能

収集資料及び高松市の歴史と文化に関する調査・研究を行う。

(3) 資料館の規模・内容

ア 建設計画の基本的な考え方

市民が気軽に出入りでき、くつろいだ雰囲気の中で郷土の歴史と文化に親しめるとともに、障害者、高齢者にも配慮した施設とする。また、観覧者と職員の動線が交わらないように収蔵品、展示品の搬入、搬出に配慮し、維持管理及び保守点検が容易な施設とする。

収蔵品、展示品については、その安全性を確保するため、防犯・防火に備えるとともに、空気調整等により虫、菌、カビ、塵埃及び湿度対策を行う。

さらに、ニューメディア、コンピュータの急速な進展等、将来の変化に対応できるよう融通性を持った施設とする。

イ 建設規模

個性的な資料館にするとともに、展示、教育普及を中心に、

収集、整理保管、調査研究等の諸機能が有機的に連携し、円滑に作動するよう延床面積は、おおむね次のとおりとする。

【建物延床面積 2,000 m²程度】

※大量に出土が見込まれる一般的な考古資料、民俗資料等の整理保管の施設については、別途確保とする。

(4) 資料収集の基本方針

- 資料の収集については、次のとおり計画し、実施する。
- ア 高松市教育委員会が発掘調査した出土遺物のうち、重要な遺物については資料館に保管する。
- イ 国、県及び市指定の文化財所有者の協力を得て、資料収集をする。
- ウ 学識経験者、郷土史愛好グループ、一般市民等の情報提供により、文化財の所在データを作成し、必要により所有者の協力を得て収集する。
- エ 移動できないもの、消滅したもの及び無形のものについては、写真、図面、ビデオ等によって資料収集をする。
- オ 収集は、寄贈、寄託、購入等による。

3 沿革

昭和 56 年 9 月 第2次高松市総合計画で、郷土資料の収集、保存、活用を図るために、郷土資料館の建設の検討が計画された。

昭和 59 年 3 月 学識経験者、文化団体関係者からなる高松市文化振興会議で郷土資料館の建設の提案がなされた。

昭和 61 年 6 月 史跡石清尾山古墳群整備基本計画策定計画書に、石清尾山古墳群に関連する郷土資料館建設が記載された。

昭和 62 年 6 月 高松市歴史民俗協会から、歴史民俗博物館設立の要望があった。

10 月 市制施行 100 周年記念事業計画会議から、100 周年記念事業の基本構想及び基本計画のなかで、歴史民俗資料館建設の提言があった。

12 月 市制施行 100 周年記念事業基本構想・基本計画で記念施設の一つとして、歴史民俗資料館建設が決定された。

昭和 63 年 2 月 高松市図書館・歴史民俗資料館整備庁内連絡会を設置した。

7 月 高松市立歴史民俗資料館（仮称）建設検討懇談会を設置した。

平成元年 2 月 高松市立歴史民俗資料館（仮称）建設検討委員会から高松市歴史民俗資料館（仮称）基本構想報告書が提出された。教育民生調査会を開催した。

3 月 高松市立歴史民俗資料館（仮称）建設基本構想を策定した。

5 月 高松市歴史民俗資料館（仮称）展示基本構想研究会を設置した。

6 月 教育民生調査会を開催した。

平成元年 9 月 展示基本計画・基本設計を業務委託した。

平成 2 年 3 月 教育民生調査会を開催した。

7 月 教育民生調査会を開催した。

9 月 展示実施設計業務委託・映像資料設計業務を委託した。

10 月	起工式
平成 3 年 7 月	常設展示室等展示業務を委託した。
平成 4 年 7 月	建物工事が竣工した。高松市歴史資料館条例を制定。正式名称を「高松市歴史資料館」とした。
4 月	事務局を開設した。
7 月	教育民生調査会を開催した。
11 月	3 日（文化の日）に開館
平成 18 年 1 月	近隣 6 町との合併により、新しく石の民俗資料館、香南歴史民俗郷土館、讃岐国分寺跡資料館を管轄し、その事務を担当する。

4 施設概要

名称 高松市歴史資料館（中央図書館・菊池寛記念館と併設）

所在地 高松市昭和町一丁目 2 番 20 号

敷地面積 3,921 m²

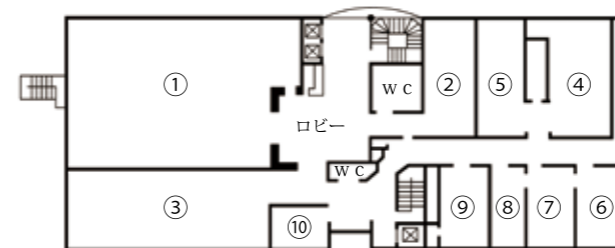
建物構造 鉄筋コンクリート造・地下 2 階・地上 4 階建・塔屋

建築面積 2,492 m²

延床面積 11,330 m²
 うち歴史資料館部分（4 階） 1,925 m²
 共用部分（エントランスホール・機械室・階段・エレベーター等） 3,544.93 m²

各室一覧	① 常設展示室	503 m ²
	② プレイミュージアム（学習室）	99 m ²
	③ 特別展示室	263 m ²
	④ 第 1 収蔵庫	115 m ²
	⑤ 第 2 収蔵庫	93 m ²
	⑥ スタジオ	61 m ²
	⑦ 調査研究室	65 m ²
	⑧ 資料室	48 m ²
	⑨ 事務室	65 m ²
	⑩ 展示備品室	—

平面図



工事関係一覧	[監理] 高松市土木部建築課
	[設計管理] (株) 梓設計
	[建設工事] 大成・大林・鴻池・合田建設共同企業体
	[給排水衛生設備工事] ナミレイ・サン技研建設共同企業体
	[電気工事] 浅海・昭和・大よし共同企業体
	[空調設備工事] 高砂熱学工業・朝日工業社・雉島工業共同企業体
	[昇降機設備工事] 日本オーチスエレベータ
	[立体駐車場工事] 石川島播磨重工業
	[展示業務] (株) 乃村工藝社

5 組織と業務

高松市歴史資料館は、高松市・高松市教育委員会が建設し、管理運営を行っている。事務局は、創造都市推進局文化財課歴史資料館業務係におかれ、正規職員と非常勤嘱託職員から構成されている。

資料館は、高松市歴史資料館条例及び同施行規則に基づいて活動しており、組織については、高松市歴史資料館処務規定に基づいている。さらに、資料館の適正な運営を図るため、高松市歴史資料館等協議会を年 1 回開催している。

資料の取扱いについては、高松市歴史資料館資料取扱い要綱に基づいて、適切に対処している。さらに、重要な資料の収集にあたっては高松市歴史資料館資料収集審査会条例に基づき、同審査会に諮問し、その答申に沿って収集している。

■ 業務内容

- 1 常設展示の運営、管理
- 2 館内庶務及び予算事務
- 3 企画展の開催
- 4 教育学習に関する事業
- 5 資料収集、整理、保管
- 6 資料に関する調査研究と情報提供
- 7 資料に関する解説書、図録、目録、研究報告書等の刊行
- 8 資料の利用に関する助言、指導
- 9 歴史資料館等協議会事務
- 10 他の資料館、関係機関、団体との協力
- 11 その他資料館が行う事業

■ 合併による文化施設編入について

平成 17 年度の市町合併により、下記の三館を高松市歴史資料館が統括することになり、菊池寛記念館とともに協力し合って新しい事業展開を図っている。

- ・石の民俗資料館
高松市牟礼町牟礼 1810 Tel.087-845-8484
五剣山南麓の「石匠の里公園」の中核施設であり、石材産業の民俗資料を収集・展示する全国でも例のない資料館。ジオラマ展示や体験学習広場を設けるなど楽しみながら石と触れ合うことができる。また、各種の企画展や講座も開催。

- ・香南歴史民俗郷土館
高松市香南町由佐 253-1 Tel.087-879-0717
南北朝時代、足利尊氏に属して功績を挙げた由佐秀助という武將がこの地を賜り、京都から讃岐に渡って由佐城を築城した。この郷土館は、その居城跡に、城の土塁といわれるものや古い屋敷の庭石、樹木の一部を大切に活かして庭を造り、城をかたどって創られた施設。

- ・讃岐国分寺跡資料館
高松市国分寺町国分 2177-1 Tel.087-874-8840
国分寺跡保存整備事業の一環として建設された資料館で、発掘調査で出土した瓦・土器・金属器などを展示。映像学習室ではアニメーションを取り入れた讃岐国分寺跡の歴史ビデオを放映。また、国分寺跡史跡公園には、奈良唐招提寺と同規模の金堂、七重の塔など、天平文化の粋を集めて造られた讃岐国分寺の伽藍配置模型(1/6)を設置。

■名簿

高松市歴史資料館等協議会

(平成24年11月3日～平成26年11月2日)

学識経験者 佐藤恒雄 香川大学名誉教授
丹羽佑一 香川大学名誉教授

関係団体役員 市原茂幹 香川県小学校教育研究会
高松支部社会科部会役員

篠原隆則 香川県中学校教育研究会
高松支部社会科部会役員
(～H26年3月31日)

宮本康子 高松市歴史民俗協会事務局
役員

葛西優子 高松市PTA連絡協議会
役員

その他 荒木ヨシ子 讃岐国分寺跡資料館
友の会役員

松下桂子 元香南歴史民俗郷土館
運営協議会委員

奥谷義明 文化協会むれ会長

公募 釋氏浩幸

柏原直子

(平成26年11月3日～平成28年11月2日)

学識経験者 丹羽佑一 香川大学名誉教授
田中健二 香川大学名誉教授

関係団体役員 市原茂幹 香川県小学校教育研究会
高松支部社会科部会役員

土井敏生 香川県中学校教育研究会
高松支部社会科部会役員
(H26年4月1日～)

宮本康子 高松市歴史民俗協会事務局
役員

太田明美 高松市PTA連絡協議会
役員

その他 荒木ヨシ子 讃岐国分寺跡資料館
友の会役員

松下桂子 元香南歴史民俗郷土館
運営協議会委員

奥谷義明 文化協会むれ会長

公募 田所なよ子

谷本 亘

職員

26年度 館長 穴田豊久
業務係長 山元敏裕
主任主事 小林有希子
主任主事 今池 薫
非常勤嘱託職員 中條亜希子
松本有貴
廣瀬杏子
貝原弥佳
香川依央
長谷井めぐみ

6 関係法規

高松市歴史資料館条例

平成4年3月27日条例第19号

(設置)
第1条 本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、高松市歴史資料館(以下「資料館」という。)を高松市昭和町一丁目2番20号に設置する。

(事業)
第2条 資料館は、前条に規定する資料館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。
(1) 本市の歴史、考古、民俗等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示を行うこと。
(2) 本市の歴史、考古、民俗等に関する調査研究を行うこと。
(3) 本市の歴史、考古、民俗等に関する展覧会、講演会等を開催すること。
(4) 本市の歴史、考古、民俗等に関する情報を提供すること。
(5) 前各号に掲げるもののほか、資料館の設置目的を達成するために必要な事業(観覧料)

第3条 資料館の展示を観覧しようとする者は、別表に規定する観覧料を納付しなければならない。
(観覧料の返還)

第4条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会(以下「委員会」という。)が特別の理由があると認める場合は、返還することができる。
(観覧料の減免)

第5条 市長は、委員会において必要があると認める場合は、観覧料を減額し、又は免除することができる。
(利用の制限)

第5条の2 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
(1) 秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
(2) 資料館が展示若しくは保管をしている資料又は資料館の施設・設備等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
(3) その他資料館の管理上支障があると認められる者
(損害賠償)

第6条 資料館の入館者が、自己の責めに帰すべき理由により、資料又は資料館の施設・設備等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。
(高松市歴史資料館等協議会への諮問)

第7条 委員会は、第2条各号に掲げる事業に関する基本的な事項については、高松市歴史民俗分野及び美術分野社会教育施設協議会条例(平成20年高松市条例第29号)に規定する高松市歴史資料館等協議会に諮問するものとする。
(職員)

第8条 資料館に館長その他必要な職員を置く。
(委任)

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。
附 則
この条例は、平成4年11月3日から施行する。ただし、第8条の規定は、規則で定める日から施行する。(平成4年高松市規則第15号により、同年4月1日から施行)

附 則(平成11年7月14日条例第19号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成12年3月27日条例第6号)
この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月26日条例第29号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。
附 則(平成22年3月26日条例第7号)
この条例は、平成22年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体(20人以上)
一般	200円	160円
大学生	150円	120円

備考

- 1 「一般」とは 15 歳以上の者（大学生及び備考 2 の規定の適用を受ける者を除く。）をいい、「大学生」とは学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
- 2 就学年齢に達しない者又は学校教育法第 1 条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

高松市歴史資料館条例施行規則

平成 4 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、高松市歴史資料館条例（平成 4 年高松市条例第 19 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第 2 条 高松市歴史資料館（以下「資料館」という。）の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、展示室及び学習室への入室は、午後 4 時 30 分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

（休館日）

第 3 条 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が、国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。）

(2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は開館することができる。

（観覧券の交付）

第 4 条 条例第 3 条の規定による観覧料の納付があったときは、観覧券（様式第 1 号）を交付する。

（観覧料の返還）

第 5 条 条例第 4 条ただし書に規定する観覧料を返還することができる場合は、天災地変その他観覧料を納付した者の責めによらない理由で観覧できなくなったときとする。

2 観覧料の返還を受けようとする者は、高松市歴史資料館観覧料返還申請書（様式第 2 号）を速やかに教育委員会（以下「委員会」という。）に提出しなければならない。

（観覧料の減免）

第 6 条 条例第 5 条に規定する委員会において観覧料の免除を必要と認める場合は、次のとおりとする。

(1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する小学校、中学校、高等学校その他これらに準ずるものの児童または生徒が教育課程に基づく教育活動の一環として展示を観覧する場合において、これらの者の引率者が展示を観覧するとき。

(2) 65 歳以上の者で、長寿手帳（香川県が交付する手帳をいう。）、免許証その他の年齢を証する書面を所持するものが、展示を観覧するとき。

(3) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。

(4) 療育手帳制度要綱（昭和 48 年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号厚生事務次官通知）に規定する療育手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。

(5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。

2 前項第 1 号の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ委員会に申請しなければならない。

3 第 1 項第 2 号から第 5 号までの規定により観覧料の免除を受けようとする者は、観覧の際、職員に当該各号に掲げる手帳等を提示しなければならない。

4 第 1 項に規定するもののほか、観覧料の減免を必要と認める場合は、委員会が特別の理由があると認めるときとする。

（入館者の遵守事項）

第 7 条 資料館の入館者（以下「入館者」という。）は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 資料館が展示若しくは保管をしている本市の歴史、考古、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）に触れないこと。
- (2) 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 火気を使用しないこと。
- (5) 危険物又は動物を持ち込まないこと。ただし、身体障害者が同伴する身体障害者補助犬については、この限りでない。

(6) 物品等の販売又は展示、びら等の配布その他これらに類する行為をしないこと。

(7) 許可なく資料の撮影をしないこと。

(8) その他資料館の職員の指示に従うこと。

（損傷等の届出）

第 8 条 入館者が、資料又は資料館の施設・設備等を損傷し、又は滅失したときは、高松市歴史資料館資料・施設・設備等損傷・滅失届（様式第 3 号）を直ちに委員会に提出しなければならない。

（委任）

第 9 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規則は、平成 4 年 11 月 3 日から施行する。

附 則（平成 10 年 9 月 28 日教委規則第 3 号）

この規則は、平成 10 年 11 月 3 日から施行する。

附 則（平成 11 年 7 月 14 日教委規則第 7 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 12 年 3 月 27 日教委規則第 3 号）

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 13 年 11 月 30 日教委規則第 10 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 14 年 9 月 27 日教委規則第 7 号）

この規則は、平成 14 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 7 月 28 日教委規則第 9 号抄）

この規則は、平成 17 年 8 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 3 月 31 日教委規則第 9 号）

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 3 月 26 日教委規則第 7 号）

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 11 月 25 日教委規則第 14 号）

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

高松市歴史民俗分野及び美術分野社会教育施設協議会条例

平成 20 年 3 月 26 日条例第 29 号

（設置）

第 1 条 歴史、民俗及び美術に関する社会教育のための公の施設の運営に関し調査審議するため、教育委員会（以下「委員会」という。）に、歴史及び民俗の分野並びに美術の分野ごとに協議会を置く。

（名称）

第 2 条 前条の協議会（以下「協議会」と総称する。）の名称は、高松市歴史資料館等協議会（以下「歴史資料館等協議会」という。）及び高松市美術館協議会（以下「美術館協議会」という。）とする。

（所掌事項）

第 3 条 協議会は、それぞれ次に掲げる公の施設の運営に関し、委員会の諮問に応じて調査審議する。

(1) 歴史資料館等協議会 高松市歴史資料館、高松市石の民俗資料館、高松市香南歴史民俗郷土館及び高松市讃岐国分寺跡資料館

(2) 美術館協議会 高松市美術館及び高松市塩江美術館

2 美術館協議会は、高松市美術館に関しては、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 20 条第 1 項に規定する博物館協議会とし、前項に規定するもののほか、同条第 2 項の規定により美術館協議会の権限に属させられた事項を処理する。

この場合においては、前項中「委員会」とあるのは、「館長」とする。

（組織）

第 4 条 協議会は、歴史資料館等協議会にあっては委員 11 人以内、美術館協議会にあっては委員 15 人以内で組織する。

2 協議会の委員は、それぞれ次に掲げる者のうちから、委員会が委嘱する。

(1) 歴史資料館等協議会 次のアからウまでに掲げる者

ア 学識経験のある者

イ 関係団体の役員

ウ ア及びイに掲げる者のほか、委員会が必要と認める者

(2) 美術館協議会 次のアからエまでに掲げる者

ア 学校教育及び社会教育の関係者

イ 家庭教育の向上に資する活動を行う者

ウ 学識経験のある者

エ アからウまでに掲げる者のほか、委員会が必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第6条 協議会にそれぞれ会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

2 協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。

(幹事)

第8条 協議会にそれぞれ幹事若干人を置く。

2 幹事は、委員会の職員のうちから、委員会が任命する。

3 地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の7の規定により第3条第1項各号に掲げる公の施設の運営に關する事務を市長の補助機関である職員に補助執行させる場合における前項の規定の適用については、同項中「委員会の職員」とあるのは「市職員」と、「任命する」とあるのは「任命し、又は委嘱する」とする。

4 幹事は、協議会に出席し、調査審議事項について意見を述べることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に關し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際、現に附則第5項の規定による改正前の高松市歴史資料館条例（平成4年高松市条例第19号）第7条の規定により委嘱された高松市歴史資料館運営協議会の委員である者並びに現に附則第9項の規定による改正前の高松市美術館条例（昭和63年高松市条例第10号）第18条及び博物館法第21条の規定により委嘱された高松市美術館協議会の委員である者は、この条例の施行の日に、第4条第2項の規定により、それぞれ歴史資料館等協議会の委員及び美術館協議会の委員として委嘱されたものとみなす。

3 この条例の施行の日以後最初に委嘱される委員（前項の規定により歴史資料館等協議会又は美術館協議会の委員に委嘱されたものとみなされる者を含む。）の任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、歴史資料館等協議会の委員にあっては平成20年11月2日まで、美術館協議会の委員にあっては平成21年6月30日までとする。

附 則（平成21年3月25日条例第7号）

この条例は、平成21年7月1日から施行する。

附 則（平成24年3月27日条例第39号）

この条例は、平成24年7月1日から施行する。

7 統計資料

■ 企画展他観覧者数

展覧会名	有料(人)		無料(人) 一般	高校生以下	合計(人)	日数
	一般	大学生				
第66回企画展 再発見！桃太郎の世界	228	53	748	118	1,147	32
第67回企画展 船と鉄道～四国の玄関口・高松の交通機関史～	538	32	699	554	1,823	32
第68回企画展 輝きの備前名刀展	351	11	697	711	1,770	38
史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展 屋島－シンボリックな大地に刻まれた歴史－	-	-	2,168	-	2,168	39
収藏品展 あゝ商店街～高松アーケード・メモリー～	862	14	1,176	201	2,253	50
ロビー展等					16,610	333

■ 特別展・企画展等実績（各年度経過）

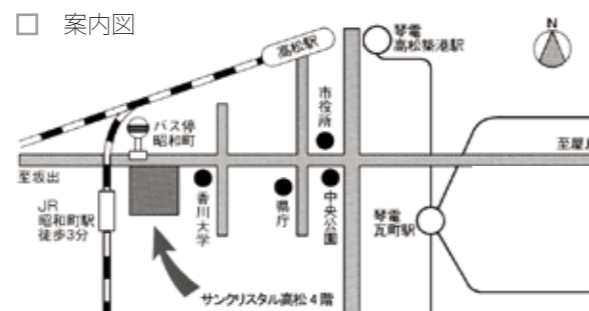
年度	展覧会名	開催日数 (日間)	観覧者 総数(人)	一日平均 観覧者数(人)
平成4年	第1回特別展 開館記念 仏生山法然寺の名宝展	19	5,245	276
	第2回特別展 大地から見た高松の歴史	30	2,920	97
平成5年	第3回特別展 讃岐の文人画展	56	4,340	78
	第4回特別展 開館1周年記念 名刀が語る日本刀の歴史展	32	3,615	113
平成6年	第5回特別展 高松平野の考古学のあけぼの－小竹一郎旧蔵資料展	43	4,122	96
	第6回特別展 写真が語る高松のあゆみ	56	3,063	55
平成7年	第7回特別展 開館2周年記念 描かれし美の世界－讃岐に関する画人・作品を中心に	43	3,798	88
	第8回特別展 鏡の美－讃岐出土・伝来の和鏡を中心として	50	3,493	70
平成8年	第9回特別展 讃岐一宮 田村神社の名宝展	54	4,068	75
	第10回特別展 開館3周年記念 北斎・広重から棟方志功まで－町田市立国際版画美術館所蔵品を中心に	38	3,852	101
平成9年	第11回特別展 讃岐の古瓦展－白鳳・天平の鸞	50	3,140	63
	第12回特別展 高松市歴史資料館コレクション展－美術・考古・民俗資料編	49	2,897	59
平成10年	第13回特別展 開館4周年記念 名刀展－鐵の匠	50	5,167	103
	第14回特別展 高松埋蔵文化財展	48	3,533	74
平成11年	第15回特別展 全国郷土玩具展－樋口準一氏寄贈玩具を中心として	44	2,422	55
	第16回特別展 開館5周年記念 水戸徳川家の名宝展	25	4,109	164
平成12年	第17回特別展 馬の文化展－讃岐を駆けぬけた馬たち	50	2,850	57
	第18回特別展 たかまつ香西のまつり	41	2,115	52
平成13年	第19回特別展 弘憲寺の名宝展	26	2,749	106
	第20回特別展 源平合戦図絵の世界	26	2,310	89
平成14年	第21回特別展 幻の宮伊勢齋宮－王朝の祈りと皇女たち	22	3,467	158
	第22回特別展 讃岐の古画にみる動物たち	40	1,189	30
平成15年	第23回特別展 野球王国・高松が生んだ宿命のライバル－水原茂と三原脩の野球人生	38	2,819	74
	館外展示 矢島で屋島展－生駒親正公の開いた高松と源平屋島合戦（矢島町郷土資料館）	22	1,708	78
平成16年	収藏品展 古文書に見る人々の暮らし	38	1,210	32
	第24回特別展 栗田コレクション展	32	917	65
平成17年	第25回特別展 山田地区の文化財－川島・十河・東植田・西植田に伝えられた品々	38	2,288	60
	第26回特別展 高松市市制施行110周年記念事業・文化財保護法50周年記念 芦葉江と名刀展	38	2,465	65
平成18年	第27回特別展 高松市市制施行111周年記念事業 秋田県矢島町と生駒氏	38	2,288	60
	収藏品展 拓本展	32	772	24
平成19年	第28回特別展 怪童・中西太展	38	1,421	37
	第29回特別展 高松市市制施行111周年記念事業・高松市の111周年	44	2,338	53
平成20年	第30回特別展 近世の高松画壇～御用絵師と文人を中心に～	38	1,238	33

年度	展覧会名	開催日数 (日間)	観覧者 総数(人)	一日平均 観覧者数(人)
平成14年	収藏品展 弓の名手・那須与一展	38	1,040	27
	第30回特別展 メモリー [映画・映像の文化]	39	886	23
	第31回特別展 開館10周年記念 彦根藩主 井伊家の名宝―華麗なる大名道具の数々	30	2,225	74
	第32回特別展 林・三谷地区の文化財	32	1,654	52
平成15年	企画展 ある収集家のコレクション展	26	574	22
	共催展 高松自動車道全線開通記念埋蔵文化財展 讃岐横断 101km	30	1,118	37
	第33回特別展 ヒーローズ [昭和のイラスト・特撮の世界]	51	1,730	34
	第34回特別展 高松城と栗林園	32	1,893	59
平成16年	第35回特別展 歴史と現代の対話―広告・宣伝の文化史	44	1,560	35
	収藏品展 殿様の書状	32	559	17
	第36回特別展 印刷メディアあれこれ―近代の教育がみえる	38	650	17
	第37回特別展 仏生山・多肥地区の文化財	44	1,904	43
平成17年	第38回特別展 讃岐の文人・後藤漆谷の書跡とその周辺	38	788	21
	収藏品展 コレクション大公開―歴史資料館の錦絵	32	994	31
	第39回特別展 名刀芦葉江と讃岐の刀	38	1,759	46
	第40回特別展 源義経と源平合戦	38	1,944	51
平成18年	第41回特別展 嵐徳三郎の世界	38	1,430	38
	収藏品展 新たに仲間となりました	26	1,282	49
	第42回特別展 武士の装い	35	3,511	100
	第43回特別展 戦前の教育者群像	45	4,163	93
平成19年	収藏品展 栗山とその周辺	34	1,026	30
	第44回特別展 ことばとかたちの歴史	38	1,566	41
	企画展 高松城跡天守台発掘速報展	38	782	21
	第45回特別展 渡辺コレクション展	38	2,018	53
平成20年	第46回特別展 万葉を愛した人物・中村一作展	38	788	20
	共催巡回展 発掘へんろ―遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波	27	880	33
	第47回特別展 布をめぐる旅―込められた物語・歴史・表現	38	3,074	81
	収藏品展 れきしに出会う―新収藏品で知る人と風景	38	673	18
平成21年	第48回特別展 近代香川の人物譜―菊池寛と同じ時代を生きた人々	38	1,725	46
	第49回特別展 人形の・夢・見ゆるひと	38	1,634	43
	第50回特別展 近代をつくった大工棟梁―高松の大工久保田家とその仕事	38	1,188	32
	共催巡回展 発掘へんろ―遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波	26	620	24
平成22年	収藏品展 長町竹石 文人画の世界	38	855	23
	収藏品展 高松市内の遺跡発掘調査速報展―弥生土器に見るムラの暮らし	38	507	14
	第51回特別展 資料館がすいぞくかん!?―造形にみる水のいきものたち	38	1,312	35
	企画展 旅する文人 細川林谷―その書画と篆刻	38	1,443	38
平成23年	第52回特別展 対決・協調 カップルズ	38	1,411	38
	第53回特別展 民具と生活、それぞれの四季	39	572	15
	収藏品展 ここまでわかった高松城天守―史料と発掘成果から往時の姿を探る―	38	937	25
	第54回企画展 郷土・高松に伝えられた至宝～高松市内の指定文化財～	26	1,927	75
平成24年	第55回企画展 ものがたりをよむ方法―伊勢・源氏・平家物語を楽しもう―	38	1,451	39
	収藏品展 あそびのころ―昔おもちゃの魅力を知る―	38	1,495	40
	第56回企画展 左近さんが居た幕末―松平頼該とその周辺―	42	1,374	33
	収藏品展 高松ご城下井戸物語―発掘された江戸時代 高松の上水道施設―	38	1,040	27
平成25年	第57回企画展 魅せる―錦絵にみる女性の内なる美―	31	1,262	41
	第58回企画展 知の体系―江戸時代にやってきた自然科学―	38	1,734	46
	第59回企画展 馬場景泉展―現代花鳥画の精華―	38	1,971	52
	収藏品展 もんよう玉手箱～れきし・かたち・いろいろ～	38	1,024	27

年度	展覧会名	開催日数 (日間)	観覧者 総数(人)	一日平均 観覧者数(人)
平成24年	第60回企画展 高松平野の災害史―地震と水害の歴史に学ぶ防災―	38	1,177	31
	収藏品展 新収藏品展―讃岐人の筆―	32	1,036	33
	第61回企画展 久保桑閑とその時代	38	1,814	48
	第62回企画展 兵たちの物語～絵画に見る源平合戦～	39	2,151	56
平成25年	収藏品展 大作家漆原の調度と生活	38	1,773	47
	第63回企画展 古今高松大物産展～うまげなもん ようけあるけん 見に来まい～	32	1,549	48
	第4回古代山城サミット 高松大会開催記念 企画展 屋嶋城が築かれた時代	38	2,230	59
	第64回企画展 知の巨人 藤澤東峯展～没後 150年記念～	39	2,591	66
平成26年	第65回企画展 M A P S～古地図の楽しみ方～	38	1,663	44
	第66回企画展 再発見! 桃太郎の世界	32	1,147	36
	第67回企画展 船と鉄道～四国の玄関口・高松の交通機関史～	32	1,823	57
	第68回企画展 輝きの備前名刀展	38	1,770	47
平成27年	史跡・天然記念物 屋嶋指定 80周年記念 企画展 屋島―シンボリックな大地に刻まれた歴史―	39	2,168	56
	収藏品展 ああ商店街～高松アーケード・メモリー～	50	2,253	45

8 利用案内 (平成27年4月1日現在)

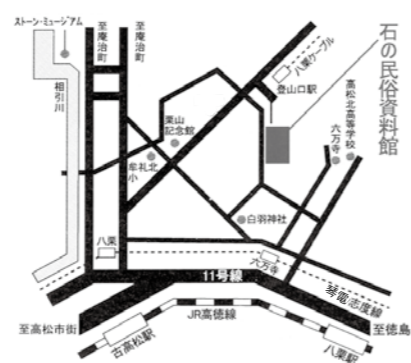
- 開館時間
9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日
月曜日(休日の場合は翌日)
年末・年始(12月29日~翌年1月3日)
- 観覧料
一般 200円(160円) 大学生 150円(120円)
高校生以下は無料 ※()内は20人以上団体料金



■ 石の民俗資料館

高松市牟礼町牟礼1810 TEL:087-845-8484

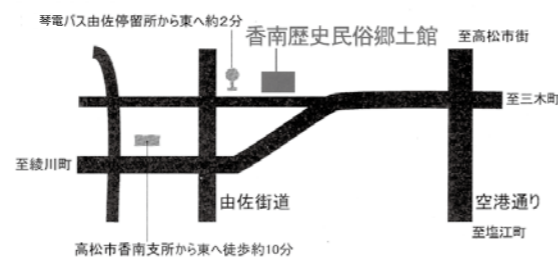
開館時間 : 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 : 月曜日(休日の場合は翌日)
観覧料 : 一般 200円(160円) 大学生 150円(120円)
高校生以下は無料
※()内は20人以上団体料金



■ 香南歴史民俗郷土館

高松市香南町由佐253番地1 TEL:087-879-0717

開館時間 : 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 : 月曜日(休日の場合は翌日)
観覧料 : 無料



■ 讃岐国分寺跡資料館

高松市国分寺町国分2177番地1 TEL:087-874-8840

開館時間 : 9:00~16:30
休館日 : 月曜日(休日の場合は翌日)
観覧料 : 大学生以上 100円(80円)
高校生以下は無料
※()内は20人以上団体料金



高松市歴史資料館年報 平成26年度 No.17

編集 (高松市歴史資料館)
デザイン (高松市歴史資料館)
発行 平成27年8月 高松市歴史資料館
〒760-0014 高松市昭和町一丁目2番20号
TEL 087(861)4520・FAX 087(837)9114
URL <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/23506.html>

TAKAMATSU
HISTORICAL
MUSEUM
annual report

高松市歴史資料館 年報
平成26年度 No.17